

学校栄養教育実習Ⅱ

到達目標	A(100点)	B(80点)	C(60点)	D (1つでもあてはまれば不合格)
1 児童及び生徒への個別的な相談指導の実際を知ることができる(G)	偏食傾向のある児童生徒、肥満傾向や痩身願望の強い児童生徒などに対する生活習慣病の予防等の観点からの個別的な相談指導について、関係教職員や栄養教諭から見聞きすることを通して学校内の体制、教職員の役割、家庭、地域との連携の実際を知り、食のカウンセラーとしての栄養教諭としての役割を考察できる。	偏食傾向のある児童生徒、肥満傾向や痩身願望の強い児童生徒などに対する生活習慣病の予防等の観点からの個別的な相談指導について、関係教職員や栄養教諭から見聞きすることを通して学校内の体制、教職員の役割、家庭、地域との連携の実際を知る	偏食傾向のある児童生徒、肥満傾向や痩身願望の強い児童生徒などに対する生活習慣病の予防等の観点からの個別的な相談指導について、学校内の体制などの概要を一部知る。	偏食傾向のある児童生徒、肥満傾向や痩身願望の強い児童生徒などに対する生活習慣病の予防等の観点からの個別的な相談指導について、概要を理解することができてない
2 学級活動、給食の時間、教科等における教科担任などと連携した食に関する指導の参観、補助、実施できる。(G)	学級活動、給食の時間、教科等における授業実践または参観、補助を通して、活動の立案、実施、評価の一連を教育実習生として主体的に実施できる。準備の課程では、指導教員の指導をうけながら指導案作成や教授法の見直しを繰り返し、自らの活動を入念に確認することができる。単独またはチームティーチングで教育活動を実施する。自らが行った活動の内容、課題、実践を振り返り、自身の課題について述べるができる。各活動における指導教員の講評から、よりよい食に関する指導を考察しようとする意欲を表明できる。各活動を通して栄養教諭としての専門性をふまえた食に関する指導の実践を考察できる。	学級活動、給食の時間、教科等における授業実践または参観、補助を通して、活動の立案、実施、評価の一連を教育実習生として主体的に実施できる。準備の課程では、指導教員の指導をうけながら指導案作成や教授法の見直しができる。単独またはチームティーチングで教育活動を実施する。自らが行った活動の内容、課題、実践を振り返り、自身の課題について述べるができる。各活動における指導教員の講評から見直しする意欲を表明できる。活動を通して栄養教諭としての専門性をふまえた食に関する指導の実践を考察できる。	学級活動、給食の時間、教科等における授業実践または参観、補助を通して、活動の立案、実施、評価の一連を教育実習生として主体的に実施できる。準備の課程では、指導案が作成できる。単独またはチームティーチングで教育活動を実施する。自らが行った活動の内容、課題、実践を振り返り、自身の課題について述べる。活動を通して栄養教諭としての専門性をふまえた食に関する指導の実践を考察できる。	学級活動、給食の時間、教科等における授業実践または参観、補助ができず、活動の立案、実施、評価の一連を教育実習生として主体的に実施できない。栄養教諭としての専門性をふまえた食に関する指導の実践を考察できない。
3 食に関する指導に係る全体的な計画の作成手順を理解し、実習校の全体計画について学校、家庭、地域が連携した食に関する指導の実際を説明できる(G)	食に関する指導に係る全体的な計画の作成と学校全体での取り組みにおいて、教職員間の連携・調整、給食だよりの発行や親子料理教室の開催、家庭や地域社会と連携、啓発活動などについて、関係教職員や栄養教諭から見聞きすることを通して学校内の体制、教職員の役割、家庭、地域との連携の実際を知り、食のコーディネーターとしての栄養教諭としての役割を考察できる。	食に関する指導に係る全体的な計画の作成と学校全体での取り組みにおいて、教職員間の連携・調整、給食だよりの発行や親子料理教室の開催、家庭や地域社会と連携、啓発活動などについて、関係教職員や栄養教諭から見聞きすることを通して学校内の体制、教職員の役割、家庭、地域との連携の実際を知る。	食に関する指導に係る全体的な計画の作成と学校全体での取り組みにおいて、教職員間の連携・調整、給食だよりの発行や親子料理教室の開催、家庭や地域社会と連携、啓発活動などについて、学校内外の体制などの概要を一部知る。	食に関する指導に係る全体的な計画の作成と学校全体での取り組みにおいて、教職員間の連携・調整、給食だよりの発行や親子料理教室の開催、家庭や地域社会と連携、啓発活動などについて、概要を理解していない。
4 学校給食の栄養管理、衛生管理と食に関する指導との関連について自身の考察を説明できる(G)	学校給食の栄養管理、衛生管理、児童生徒の栄養状態の把握、または食に関する情報の収集などを関係教職員や栄養教諭から見聞きすることを通して学校給食管理の実際と食に関する指導への活用の実際および関連を知り、学校給食を生きた教材として活用するための学校給食管理者としての栄養教諭の役割を考察できる。	学校給食の栄養管理、衛生管理、児童生徒の栄養状態の把握、または食に関する情報の収集などを関係教職員や栄養教諭から見聞きすることを通して学校給食管理の実際と食に関する指導への活用の実際および関連を知る。	学校給食の栄養管理、衛生管理、児童生徒の栄養状態の把握、または食に関する情報の収集など、学校給食管理と食に関する指導との関連の一部を知る。	学校給食の栄養管理、衛生管理、児童生徒の栄養状態の把握、または食に関する情報の収集など、学校給食管理の概要を理解していない。